

2026 年 10 月 29 日

十山株式会社

静銀経営コンサルティング株式会社

十山と静銀経営コンサルティングが「森業アワード 2026」林野庁長官賞を共同受賞 ―井川山林の価値を事業に活かし、森林保全につなげる取り組み―

特種東海製紙グループの十山株式会社（本社：静岡市葵区、代表取締役：鈴木康平）と、静銀経営コンサルティング株式会社（本社：静岡市清水区、代表取締役：鈴木淳史）は、林野庁が主催する「森業アワード 2026」において、準グランプリにあたる林野庁長官賞を共同受賞しましたので、お知らせします。

今回受賞したのは、「南アルプス（井川社有林）における『自然を守り、自然を活かす』森林価値循環森業モデル構築」です。十山が保有する日本最大級となる約 24,430ha の広大な井川山林を基盤に、十山が森林の多様な価値を生かした事業を展開するとともに、静銀経営コンサルティングが地域企業との連携を支援し、その収益を森林管理や自然環境保全につなげることで、持続的な森林管理を目指しています。

■受賞対象となった取り組み

- ・十山は、井川山林において、森林由来の J-クレジットの創出、井川蒸溜所でのウイスキー製造、企業研修、二軒小屋ロッジを拠点とした滞在・自然体験など、森林の環境価値や社会経済的価値を活かす取り組みを進めています。
- ・静銀経営コンサルティングは、十山と連携し、森林由来の J-クレジットを中心に、森林の環境価値と経済価値を地域内で循環、両立させる取組を進め、企業と森林との継続的な関係づくりを進めています。
- ・両社は、こうした事業から生まれる収益や企業・地域との連携を、森林管理や自然環境保全につなげる仕組みづくりに取り組んでいます。

■「森業アワード」について

- ・「森業（もりぎょう）」とは、森林空間の利用、企業研修等のフィールド提供、J-クレジットや未利用資源の活用など、森林の多様な価値を生かす取り組みです。
- ・「森業アワード」は、森業に取り組む企業や自治体、NPO などを顕彰し、その取り組みを広く発信することで、森業への理解促進と取り組みの拡大につなげることを目的に、林野庁が創設した制度です。
- ・初回開催となる今回は、全国 85 件の応募の中から、グランプリ（農林水産大臣賞）1 件、準グランプリ（林野庁長官賞）8 件が選ばれました。

※受賞者・制度の詳細は、林野庁ウェブサイトをご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/morigyo/morigyoaward.html

■今後の取り組み

- ・両社は、今回の受賞を励みに、それぞれの強みを生かし、森林の価値を生かした事業と保全活動を結び付ける取り組みを進めてまいります。
- ・十山は、防鹿柵の設置や野生動物のモニタリングなどの保全活動を続けるとともに、企業、研究機関、地域の事業者との連携をさらに深め、森林の多様な価値を広く伝えながら、井川山林を次の世代へ引き継いでまいります。